

リーディングDXスクール事業【実践事例】

新潟県立国際情報高等学校（新潟県）【指定校】

【取組内容】〈校務〉手作業からクラウド・ソフトウェア等による共有へ～スキマ時間に、簡単に～

自校の
状況

本校では、数年前まで職員の超過勤務が常態化してしまっていたため、行事の精選や分掌の統合、業務の効率化を進めてきた。それでも**職員の一月あたり超過勤務時間は依然として平均約30時間あり、これを20時間まで減らす方策を見つけ出す必要**があった。

校務
利用の
視点

本校に導入されながらも埋もれてしまっていたソフトウェア等を活用できる環境を整備しよう。

施設予約機能・回覧板機能
(校務支援ソフトA)



デジタル採点
(校務支援ソフトB)



チャットで進捗報告・
情報交換
(Gmail)



デジタルサイネージで
生徒に連絡等(生徒玄関
にて、週間予定、行事
の写真等)



リーディングDXスクール事業【実践事例】

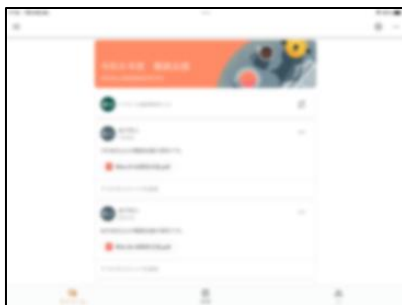
新潟県立国際情報高等学校（新潟県）【指定校】

【取組内容】〈校務〉手作業からクラウド・ソフトウェア等による共有へ～スキマ時間に、簡単に～

〈職員会議資料〉

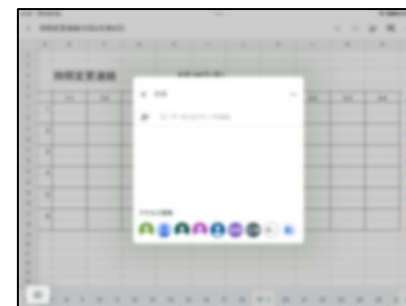
紙 → PDF

(Google Class roomで共有)



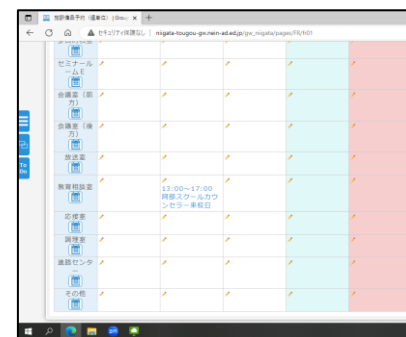
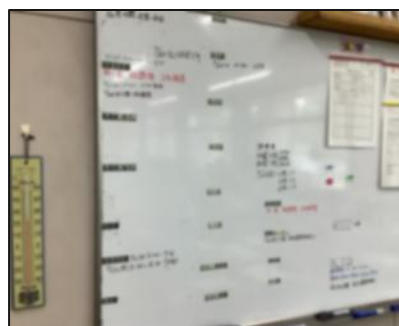
〈授業変更板・欠席一覧表〉

手書き・手入力 → Google スプレッドシート



〈教室等施設予約〉

手書き → 校務支援ソフト

先生方
の声

- ・出欠確認:「保護者からの電話対応の業務が軽減されてありがたい」
- ・欠席一覧表:「朝の時間のない中で確認できるので、非常に助かる。過去の欠席状況の確認も容易」
- ・授業変更板:「生徒による確認も容易になった」
- ・一方、職員会議資料:「見にくい」「書き込みが手でやるよりも面倒」という声も……。